

ユーカリナーのつながり川柳 入賞作品

令和3年 7月 15日

千種区社会福祉協議会



<審査員総評>

今回は大人、子供ほぼ半々の580句もの応募があり、大変驚きました。大賞の3句はいずれも、人々の善意、繋がり、協力、協調の大切さ、また我々が独りでは生きていけないことを、うまく表現しているようで、素晴らしい作品でした。他の入選作も、いずれも^{そら}諳んじやすく、リズム、語呂もいいので、声に出したり、カルタで楽しんだり、話題にされると、素敵な広がりがたくさんできると思っています。広く活用してほしいと思います。

◆ユーカリリーナ大賞◆

きっかけは はじめましての ひとことで 大野 柚葉 15歳

<審査員講評>

仲良くなりたい！ と思っていても、どうしていいかわからない。話すきっかけが難しいですね。「初めまして…」が核心を突いた、うまい言葉だと思います。着眼点がとてもいいです。

つながりに ^{たいせつ}大切なのは おもいやり 大嶋 美羽 16歳

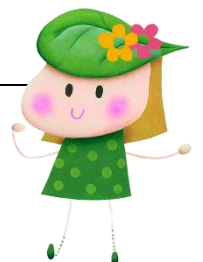
<審査員講評>

いくら仲の良い仲間でも時には仲たがいをしたり、喧嘩もします。でも、「思いやり」これさえあれば、何とかなりますね。忘れてはいけない言葉だと思います。

さし出す手 ^{たす}助けられたり ^{たす}助けたり 福島 好明 68歳

<審査員講評>

助けられるだけじゃ情けない、やはり、自分も体を動かさせて、態度で示そうよ、ですね。平凡だけど、本当に大切に忘れてはいけない基本ですね。戦後流行った（トントントンカラリンの隣り組・・・）の歌を思い出しました。リズムがいいですね。



◆入賞◆

その ^{おも} 思い とじこめないで ^{こえ} 声にして	水野 美智子	77 歳
おせっかい いいえ ^{とき} 時には ^{おも} 思いやり	藤原 美恵子	63 歳
^{いちりん} 一輪の やさしい ^{はな} 花から ^{せん たね} 千の種	キツサコ	62 歳
ほほえみは つながる ^{ひと} 人の エネルギー	伊藤 由紀子	73 歳
どようびは はたけでまちあわせ じいちゃんと		
	いとう さつき	7 歳
とう ^{げこう} 下校 ぼくたちまもる ^み 見まもり ^{たい} 隊	川合 海生	7 歳
^{おも} 思いやり お ^{となり} 隣さんにも おすそわけ	高橋 由恵	46 歳
ありがとう ^{なんど} 何度つかっても いいんだよ	宮塚 文子	76 歳
^{とも} 友いれば ^{つら} 辛い ^{ぜんぶ} の全部 ^き 消えていく	徳山 泉夢	15 歳
^あ 会えない日々 ^{ひび} 着 ^{ちゃくしんおん} 信音で はしゃぐ ^{ぼく} 僕	中根 寛大	15 歳
^{としわす} 歳忘れ おしゃれが ^い 生き ^{がい} 甲斐 オホホのホ	伊藤 陽子	83 歳
つながりは 「ごめんなさい」と 「ありがとう」	杉本 正俊	76 歳
^{まご} 孫が来て ^き 夫婦 ^{ふうふう} げんかは ひとやすみ	竹井 美喜子	78 歳
^{きのう} 昨日まで ^し 知らない ^{ひと} 人が ^{きょう} 今日は ^{とも} 友	小室 やす子	88 歳
^{はは} 母の日に ^ひ 照 ^て れて ^い 言えない 「ありがとう」	村井 亜里沙	15 歳
ふるさとの ^{とも} 友に ^あ 会いたし ^{ふみ} 文 ^か を書く	溝口 ふみ子	72 歳

アクリルばん てとてをあわせ ニツコリト 犬飼 重久 96歳

#(ハッシュタグ) つながりたいけど つながれない

青木 花純 15歳

ゴミ出しの ^だ朝から始まる ^{あさ}おつきあい ^{はじ}伊藤 弘子 76歳

としかさ ^{せき}年嵩に ^{ゆず}席を譲られ ^せ背を丸め ^{まる}藤井 千工 69歳

あいさつは みんなをえがお ^{ことば}する言葉 大嶋 明日羽 8歳

あいさつを ^{えがお}笑顔で返し ^{かえ}いってきまーす！ 藤島 梨紗 15歳

つながりは ^{はな}離れて気づく ^き大切さ ^{たいせつ}本多 彩乃 15歳

さんみつ ^さ三密を ^{はな}避けても心は ^{こころ}密々に ^{みつみつ}鬼頭 優希 15歳

ハートのかたち ^{こころ}いっぱい さくらんぼ 但木 さくら 5歳

◆そうだなも賞（特別賞）◆

やっとかめ ^{げんき}元気で会えて ^あうれしいな 高田 雅子 70歳

◆なかよしで賞（特別賞）◆

こあらっち ユーカーリーナも ^ま待ってます キッサコ 62歳

